

## お詫びと訂正

弊社刊行の『窃盗症 クレプトマニア』の本文中、以下の箇所に誤りがございました。お詫びして、訂正させていただきます。(2018年9月18日更新)

該当頁	該当箇所	誤	正	備考
137 頁	タイトル	<u>林大吾</u>	<u>林大悟</u>	2018/9/18 更新
173 頁	23 行目	<u>窃盗防止プログラム</u>	<u>窃盗更生支援プログラム</u>	2018/7/23 更新
174 頁	5 行目	<u>窃盗防止プログラム</u>	<u>窃盗更生支援プログラム</u>	2018/7/23 更新
174 頁	8～9 行目	プログラムである。	プログラムである <u>27)</u> 。	2018/7/23 更新
174 頁	12 行目	<u>窃盗防止プログラム</u>	<u>窃盗更生支援プログラム</u>	2018/7/23 更新
174 頁	15～16 行目	<u>窃盗防止プログラム</u>	<u>窃盗更生支援プログラム</u>	2018/7/23 更新
174 頁	脚注を追加	<u>27) 生島浩「第Ⅱ部 地域生活支援の課題 第4章 システムズ・アプローチの観点から 支援の多機関連携と課題 『窃盗更生支援プログラム』の開発」同編著『触法障害者の地域生活支援 その実践と課題』金剛出版, 112 - 122 頁, 2017. 同「司法と福祉の架け橋 触法障害者の地域生活支援 —窃盗犯への更生支援を中心に—」『罪と罰』55 巻 1 号, 69-74 頁, 2017.</u>		2018/7/23 更新
176～182 頁	脚注番号の繰下げ	<u>脚注 27) ～36)</u>	<u>脚注 28) ～37)</u>	2018/7/23 更新
177 頁	6～7 行目	<u>窃盗防止プログラム</u>	<u>窃盗更生支援プログラム</u>	2018/7/23 更新